

日産車体株の第一地区閉鎖へ 本市経済等への影響尋ねる

議員 平成十九年二月二日に市内有数の大手企業である日産車体株から湘南工場の第一地区を閉鎖し、その機能を日産自動車(株)九州工場内に移転す



議員 平成十九年二月二日に市内有数の大手企業である日産車体株から湘南工場の第一地区を閉鎖し、その機能を日産自動車(株)九州工場内に移転す

に基づく企業戦略が求められる今日、日産車体株の工場の一部閉鎖・移転は、企業の競争原理から日産グループとして判断したものとして認識している。

市長 平成十九年二月八日の対策会議で、庁内窓口一元化のための担当課長の配置、移転する第一地区の土地利用研究のためのプロジェクトチームの設置、県・平塚商工会議所等の関係機関との連絡会議の設置を決定し、市経済への影響等の調査分析を開始した。以後、

三月一日までに二回の会議を開催した。議員 閉鎖される第一地区の跡地利用について、市はどのように対応していく考えなのか。

市長 この地域は、まちづくりを進める上で重要なエリアであると考えている。跡地利用に対する市としての基本的な考え方をまとめ、土地利

議員 企業誘致の助成に六〇億円、土地取得面積六万五〇〇〇平方メートルある。企業流出の防止に一定の効果があり、地域経済の活性化に資するものと考えている。

議員 企業誘致の助成に六〇億円、土地取得面積六万五〇〇〇平方メートルある。企業流出の防止に一定の効果があり、地域経済の活性化に資するものと考えている。

議員 企業誘致の助成に六〇億円、土地取得面積六万五〇〇〇平方メートルある。企業流出の防止に一定の効果があり、地域経済の活性化に資するものと考えている。

議員 企業誘致の助成に六〇億円、土地取得面積六万五〇〇〇平方メートルある。企業流出の防止に一定の効果があり、地域経済の活性化に資するものと考えている。

中心商店街の活性化 商店会への加入促進など 市の考えと方策問う

議員 郊外の大形店舗の増加とは反対に駅前商店

街が寂れたため、街の中心部の空洞化防止と街づくりの支援を目的に、平成十八年八月に改正中心市街地活性化法が施行された。全国各地で中心市街地の活性化に取り組んでいるが、商店街に対する本市の認識を伺いたい。

議員 近年本市でも、商店街の主たる構成組織である商店会に加入しない事業者が増加している。商店街の活性化を図るための条例を制定する考えについて聞きたい。

議員 第一地区閉鎖の公表を受け、市は二月六日

か、幅広く産業の振興を目的とするかなど、その内容や条例化の是非について検討したいと考える。

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

公共下水道

相模川右岸の環境対策 早期に蓋掛けが望まれる鹿見堂排水路

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、

議員 相模川流域下水道事業において、茅ヶ崎市側の左岸処理場では自然環境保全のため、松林を保護する決定が行われ、



現在の鹿見堂排水路

平塚競輪の収益が低下 近年の繰出金 最盛期に比べ大幅減

議員 平塚競輪は、これまで本市の財政に大きく貢献し、一般会計への繰出金が約五〇億円となる年度もあったが、近年では、その一割の五億円程度にまで減少した。

議員 平塚競輪は、これまで本市の財政に大きく貢献し、一般会計への繰出金が約五〇億円となる年度もあったが、近年では、その一割の五億円程度にまで減少した。

議員 平塚競輪は、これまで本市の財政に大きく貢献し、一般会計への繰出金が約五〇億円となる年度もあったが、近年では、その一割の五億円程度にまで減少した。

次期環境事業センターの整備 大神地区の理解を得て現在地に

議員 平成十八年十月にごみ処理広域化の基本協定から二宮町が脱退した後、平塚市と大磯町でごみ処理広域化計画の検討作業を進めているが、現在の進捗状況を伺いたい。

議員 平成十八年十月にごみ処理広域化の基本協定から二宮町が脱退した後、平塚市と大磯町でごみ処理広域化計画の検討作業を進めているが、現在の進捗状況を伺いたい。

議員 平成十八年十月にごみ処理広域化の基本協定から二宮町が脱退した後、平塚市と大磯町でごみ処理広域化計画の検討作業を進めているが、現在の進捗状況を伺いたい。

議員 平成十八年十月にごみ処理広域化の基本協定から二宮町が脱退した後、平塚市と大磯町でごみ処理広域化計画の検討作業を進めているが、現在の進捗状況を伺いたい。

議員 平成十八年十月にごみ処理広域化の基本協定から二宮町が脱退した後、平塚市と大磯町でごみ処理広域化計画の検討作業を進めているが、現在の進捗状況を伺いたい。